

平成29年度
国有林毛二夕一会議
(第1回 広島)
意見交換会概要



平成29年9月
近畿中国森林管理局
企画調整課

シカの被害についてあまり実感がありませんでしたが、今日の見学で大変なことが分かりました。シカの現在の頭数を把握されていると思いますが、数の調整で何%ぐらいの減少を目指していますか。

環境省が公表している広島県内のシカ生息密度によると、今日ご覧いただいた高松山は非常に密度が高いことが分かります。被害が軽減できる適切な頭数の基準がありますので、捕獲を始めたところです。捕獲をしながら生息密度を調べているところです。

また、環境省によりますと、推計で北海道を除く全国ベースで305万頭いると推計されています。環境省と農林水産省で平成25年度に、シカとイノシシの頭数を10年後までに半減させるという目標を掲げ、対策を行っているところです。

適切な頭数というのはどれぐらいですか。

1ヘクタール辺り3頭であれば被害はないと言われていています。夜間に移動する動物ですので、推計は難しく、この地域で何頭獲ったからヘクタール辺り何頭になりましたと言うのは正確にお答えするのは難しいものとなることをご理解願います。

本日、シカの柵を見せていただきましたが、あの山からシカが離れていっても周りの私有林や国土交通省が管理する現場などに逃げた場合は、県とか所管するところが捕獲するのでしょうか。

広島森林管理署では、高松山で有害駆除という形で、8月下旬から10月いっぱいまで捕獲する予定になっています。今日昼食をとった「ガラスの里」近隣の山は、広島市が猟友会に委託して捕獲を行っています。

個人で負担することは無いのでしょうか。

広島県内で有害駆除という形で捕獲を行う場合は、自己所有地で「囲いわな」であれば市に申請すれば設置可能と聞いていますが、個人で設置する人は少ないと思われます。



高松山国有林「囲いわな」

治山ダムは税金で作られていると聞きましたが、シカ対策については国や県から補助金は出るのでしょうか。また、賛同する企業などが補助金のようなものを支払っていただけるのか教えて欲しい。

広島県内では、11月になると猟期が始まりますので、シカのしっぽを市役所に持って行くと4千円の報奨金が出ると聞いています。企業からの補助金というのは現在のところ聞いていません。

今日、シカのトラップを初めて見ましたが、シカ以外のものがかかった場合はどうされるのでしょうか。

今日ご覧いただいた「囲いわな」で餌付けしているエサは「ヘイキューブ」という牧草を固めたもので、「ヘイキューブ」を好むのはシカ以外にはあまりいないと考えているところです。今日ご覧いただけなかったのですが、「囲いわな」の上にカメラを設置しており、状況を確認しています。写っているのは、イノシシ、ハクビシン、タヌキでしたが、エサに魅力を感じて檻に入ったのはシカだけでした。「囲いわな」の良い点は、仮に獲ってはいけないものが入ったとしても逃がすことが出来ます。但し、イノシシが捕獲された場合は、2頭に限り県の猟友会に、シカを捕獲した時と同様に委託料を支払います。

広島で何頭捕獲するという予定はあるのでしょうか。

広島県に鳥獣の捕獲の計画はありますが、現在持ち合わせておりません。我々が捕獲しているのは、治山の山腹の緑化の緊急性があるためで、捕獲目標に則って実施しています。

シカ捕獲の際に、年齢や性別の基準はありますか。

基本的には、オスでもメスでも捕獲します。年齢につきましては、シカは歯を診ないと年齢が分かりませんので、かかったものはすべて捕獲します。頭数は、オスメスの別と成獣と幼獣という区別でカウントしています。

シカは爪の間にマダニをだいたいもっていると聞いていますが、シカが多く生息している所とそうでない所では、マダニによる被害の差はありますか。

シカには基本的にマダニがいると聞いていますが、被害については承知しておりません。捕獲にあたっては注意をしています。

兵庫県内に林業の後継者を育てるような器が出来ていると聞いていますが、山の学校はどのような感じなのでしょうか。

林業関係の学校を指していると思いますが、入ってくる生徒が少なくなっており、各県に複数校ありましたが、現在は1校も無いところはかなり多くなっています。農業系の学科に再編されたり、環境学科などの一部のコースとして林業をやっているところもあります。広島県内では、1校あるかないかだと思います。林業高校を卒業して林業に就くという人達は、非常に少なくなり、林業を担う後継者は少なくなっています。一方で、高校卒業生を対象にしている林業大学校があり、林業の基礎から現場作業、重機の取り扱いなど幅広く林業後継者の育成をしています。

兵庫県の山の学校とはまた違うのでしょうか。

今年、兵庫県の宍粟市に林業大学校が出来たのですが、おっしゃっているのはこちらとは違うのでしょうか、あるいは森林レクリエーション系で実施されているのでしょうか。私どもでは、小学生や中学生を対象とした森林環境教育や地域のボランティアの方々が呼びかけているものなどとタイアップしながら、幼少期の頃から森林や林業に興味を持っていただけるような活動も行っています。小中学校の先生方を対象にして、学校で森林・林業のことを教えていただけるように、体験を通じて林業の後継者を育成してもらえないか進めているところです。

山の学校について調べたところ、確かに兵庫県立山の学校がありましたが、こちらは青少年向けの自然体験などを中心に心と体を育むことを主旨として設立された学校のようなようです。林業とは少し違うようです。

小学校の先生方を対象としたものは具体的にどれぐらいの頻度でされていますか。

大阪の箕面森林推進ふれあいセンターでは、箕面市の教育委員会とタイアップして、採用2年目の先生を対象とした研修カリキュラムとして、森林環境学習の体験を必ず受けていただいています。また、理科の先生には毎年夏休みに体験型の研修会を受けていただいています。

広島県では、森林環境教育などはどのように取り組んでいますか。

広島ではここ2年ぐらい毎年、翠町中学校で職場体験学習があり、その中で2日間、山に行って間伐や測量などの林業体験をしてもらっています。また、今年の8月末、NTTドコモが呉市の野呂山で行っている親子森林教室に講師として参加し、木工教室などを開催しています。12月には、安芸太田町の幼稚園で森林教室として山の役割の紙芝居を見せ、クリスマスリースを作っています。その材料として、国有林のツルやドングリなどを提供しています。広島県内で、このようなニーズがございましたら広島森林管理署までご一報願います。

私、森林インストラクターとして6年ぐらい江田島市の学校林にかかわっており、森林整備の体験などもさせているのですが、もっと大きな組織がバックアップしてくれれば良いなと思っています。地域住民とバトンタッチしていきたいと思っているのですが、学校林は規模が大きいので、同じような活動をされている団体である国有林や県の方、市の方と情報共有し、手伝っていただけたらと考えています。学校からの期待もだんだんと大きくなっており、大変になってきています。学校は、地域住民をからめて学校林を守っていきたくて考えておられ、地域住民に発信を始めているところです。学校でも、校庭の樹木でさえも分からない先生が増えており、関心はあるのですが、何処に問い合わせすればいいのか分からない。あと、5年生の授業で林業が入ってきているんですが、先生方もインターネットで情報を得ることは出来るのですが、現状はどうかかななどを教えてもらえる授業を求めておられます。このようなことから、情報共有できる団体と横の繋がりというか、関わっていただけたらと考えています。農林関係はいろんな団体がありますが、あまり繋がって話をしていないように思います。森林を考えても、今飽和状態で、住民の方々に関心をもってもらって手入れをするとか、ふれあいの場を設けてもらうとか、課題として考えていますので、いろんな団体と交流できれば森林も身近なものになるのではないかと思います。

当署にも森林ふれあい担当もいますが、基本的には国有林における活動としてやっています。お伺いした活動に対して、我々としてどう対応出来るか、またご相談をさせて下さい。

治山事業についてですが、予算を組まれるときに、たとえば来年度何基ぐらいの治山現場を建設するという予定があるのでこの予算が出ているということですか。

予算は毎年、森林管理局を通じて林野庁に要望していますが、今日ご覧いただいた高松山もまだまだ整備が必要な箇所がございます。予算には限りがありますので、その中で優先順位として、地元の要望が強い所、住宅が近い所など優先順位を付けながら事業を実行しています。何基作るといった目標があるわけではなく、工事の内容によって所要額などが決まりますので、箇所数ということになります。今年使える予算はこれだけだからどこから優先的に工事をするかというのが実態です。ただ、毎年のように災害が起こっていますので、優先順序により後回しになっているものが残ってしまうということもあります。



高松山国有林「コンクリート土留工」

国交省に対して砂防堰堤を作っていただくように要望がでていると思うのですが、なかなかついて行けてないと思います。また、林野庁の規模が少しずつ小さくなっているのではないかと印象を受けます。防災に関しても山を健康にしている部分に関して、縁の下の力持ちとして林野庁が関わって下さっていますが、規模が縮小されるとか、予算が付かないとか、非常に不安です。この間の災害で被災したものですから、尚更そのように感じています。

宣伝活動について、国産の木をたくさん使ってということが大切だと思いますが、国産の木は高いというイメージがあるので、木で家を建てたいんですが安い外材の方に走ってしまう。そのような悪いイメージを払拭するために良い宣伝活動をされたらと思います。あまり林野庁の宣伝活動を目にすることがないものですから。

予算に関してはなかなか伸びない中で、国民の皆さんの安全安心を守る基盤ということで、工事をさせていただいています。毎年予算要求をしていますが、政府全体の財政が難しい状況もあり、年々公共事業は規模が小さくなっており、数年前と比べても減少しています。引き続き要望してまいります。

広報につきましても、弱い部分でありまして、このような場も設けさせていただきながら地道に国有林野事業について知っていただく事を続けています。国有林の管理が本業ですので、広報予算はあまりありませんが、可能なものは続けてまいります。

国産材が高いという認識がありますが、実態としては、外国産のものとほとんど変わらない、むしろ日本のスギの方が安くなっています。個人の施主さんにそのことをPRしていく一方で、工務店や設計士の方が選んでくれないと国産材が使われないということもありますので、業界へ働きかければ使われるようになるのかなと思います。

森林管理署をモニター活動を通じて知ったが、どのような仕事をされているか、代表的な方の1日をご紹介します。また、お悩みのことを教えて下さい。

我々の大まかな仕事は、現場でどれぐらい木があるのか調査して、間伐して、それを販売しています。昔は署に作業員がいたのですが、今は事業体に入札により委託しています。土地の貸し付けや事務処理なども行っています。広島では住宅地に接する国有林があり、木が宅地に掛かったりした場合、現地確認をして、どうするかを署長がします。緊急性がある場合の予算の確保などもしています。悩ましいことは、ニホンジカの捕獲などの新しく事業を行う場合などで、誰と契約するのか、契約書の作り方、どう設置するのか、市への申請の仕方などを担当に指示しながら、座って判を押すだけでなく、署長が先陣を切って現場に出向いたりしています。また、宮島の厳島神社には毎年相当な数の観光客が来られるので、レクリエーションの森を活性化して、インバウンドとして海外の人に国有林をもっと活用できるように自治体と打合せなども行っています。森林環境税の導入についても検討していますが、市町や町長にも説明に上がったりします。



犬戻鳴山国有林「ソイルセメント谷止工」

(国有林モニター担当)
〒530-0042
大阪市北区天満橋1丁目8-75
近畿中国森林管理局 企画調整課
TEL : 06-6881-3406
FAX : 06-6881-3415